

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 7, 事業名, 事業者ニーズに応じた支援策の展開, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐々木隆太, 施策コード, 4, 施策名, 地域外に活路を見出す販路拡大支援の充実

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

地域市場の縮小に対応し、地域外に広く活路を見出し、これまで取り組んできた商談会・物産展の出展支援に加え、マーケティングを中心とした更なる販路拡大支援策の充実を図る必要がある。

2. 事業のねらい

商工会が支援策を着実に実施していけるように、事業者ニーズに応じた販路拡大に関する情報提供や商品の完成度・成熟度に応じた提案を行うとともに、専門家などの外部との連携による支援を展開する。

3. これまでの評価結果

Table with 7 columns: 過年度, H29, -, H30, H31, H32, H33

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Row 1: 15, 事業者ニーズに応じた支援策の展開, 物産展・商談会・ECサイト等への出展支援による販路拡大支援45件から新規取引先獲得6件につなげた, a, a, c, B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 15, 取組コード, 15, 取組コード, 指標名, 販路拡大支援件数, 指標名, 新規取引先獲得件数, 指標名, 年度, H29, H30, H31, H32, H33, 年度, H29, H30, H31, H32, H33, 年度, H29, H30, H31, H32, H33

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

人口減少・高齢化により県内マーケットが縮小していく中、県内商工会より収集した情報に基づき、県連プロデュースにより重点支援先を選定し、商談会・物産展・アンテナショップ・ECサイトへの出展を支援することで、新たな販路の獲得による事業継続に寄与している。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

物産展やアンテナショップ、ECサイトでは確実に事業者の利益に結び付け、商談会では6件の新規取引先を獲得できた。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) c

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

本事業については、コスト削減という観点ではなく、県補助金の有効活用という観点から都度改善を図っている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

コスト面は県補助金の推移を見ながら対応していくとして、取組については適時適切な支援により、確実に儲ける企業を輩出できている。

3. 課題

支援先の選択肢を広げ、更に多くの事業所に同様の支援を行っていく必要がある。また、コスト面の改善に取り組み、新たな取組にも補助金が活用できるよう検討が必要。

4. 今後の対応方針(改善点)

県連販路拡大重点支援先の選定にあたって、その元となる会員事業所の選定をより有意義にするために、販路拡大支援リストの随時更新に加え定期的な見直しをスケジュール化する。